

東日本大震災 災害対策本部 活動経過報告

平成23年12月14日
日建連 東北支部

1. 3.11大震災の特徴

- 広域(3県に跨る)
- 地震より津波の被害が甚大
- 360° 度全方向からのアクセスが不可能
- 復旧が長期間に亘る

2. 応急復旧

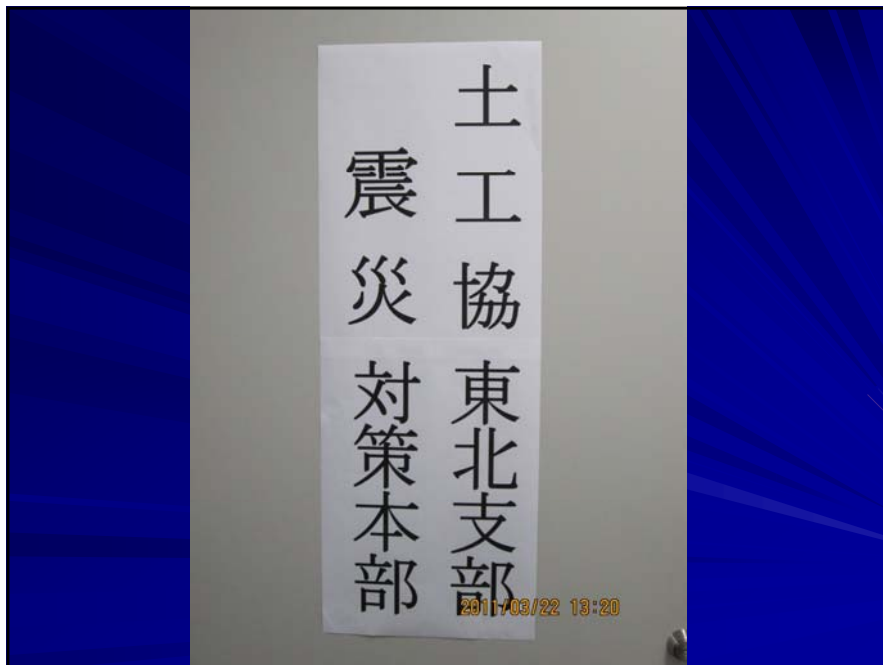
- 道路整備
 - 国道啓開
 - 国交省東北地整 — 「くしの歯作戦」
- 資機材支援 — 日建連が担当
- ガレキ処理 一次処理 — 地元業者

3. 資機材支援

- 市町村
 - | リエゾン(東北地整からの派遣)
- 国交省東北地整
 - |
- 日建連対策本部

調達実績

- 3/15~3/31 19市町村 131品目









4. 日建連組織

- 災害の大きさによるが初動の2、3日が重要
今回は支部長会社に立上げ
- 組織の立上げスピードが重要
本部・支部正副支部長会議承認等
- 会則、規格等の改正
災害の大きさにより対策本部の自動的
立上げ

5. 東北地整との協議

- 協議スピードが突然速くなる
被災地からの要望で動くので当然
一歩先を読んだ対応が必要
- 資機材数量調査
1～2日で当然数量がガラリと変わる
ダブルブッキングに対する配慮が必要
コストリスク — 数量固定には買取が必要

6. 資機材手配

- 「最重要」
- ・ 通信手段
衛星電話
衛星通信車
 - ・ 軽油(トラック用)

「依頼キーワード」
「即」「大至急」「ドタキャン」

7. 災害対策本部の体制

正副支部長会社+清水、大林

8社 11人体制 5グループ

総括(本部長代行)

- ①仮設ハウス ②仮設トイレ ③テント・シート
- ④照明・暖房・発電機 ⑤食料関係

- ・ グループ幹事会社の自己責任体制
- ・ 携帯電話で東北地整担当と直接交渉
- ・ 協議結果をFAXで確認ー指示書&精算確認
- ・ 撤収用シール・ワッペン張付(事前がベター)

8. 資機材手配の課題と対策

- 遠距離(北海道、関西等)
フェリー待ち ロスタイム:埠頭への早めの集積
- テント
リース品が非常に少ない:買取が必要
- シート
一括大量要請が多い:幹事会社一括立替購入
- 購買(新品or中古)・リースの確認が必要